

風工学シンポジウム論文集 投稿要領

第21回風工学シンポジウム運営委員会

1. 対象

風工学に関する気象・環境・土木・建築・電気などの各分野における研究成果、技術成果を対象とする。

2. 課題

課題は以下のとおりとする。

- | | |
|-------------|----------------|
| A：風の性質 | G：構造物の応答・制御 |
| B：風環境 | H：耐風設計 |
| C：風力エネルギー | I：計測方法・風洞実験法 |
| D：風災害 | J：数値解析 |
| E：基本断面の空力特性 | K：その他風工学に関するもの |
| F：構造物の風圧力 | |

3. 応募論文原稿

- 1) ページ数は6ページまたは4ページを厳守のこと。
- 2) 英文での投稿も可とする。
- 3) J-STAGE による電子投稿 (PDF ファイル) とする。
- 4) 登載が認められた場合には、論文1編あたり10,000円の登載料 (論文集 + CD-ROM 費用を含む) を負担する。
- 5) 口頭発表は一人1件に限る。ただし、複数論文の連名は可能である。

4. 著作権等について

- 1) 当該論文の著作権は、登載決定と同時に風工学シンポジウム運営委員会に委譲される。
- 2) 編集出版権及び風工学シンポジウム運営委員会に委譲された著作権は、副幹事学会の日本風工学会が管理する。

5. 査読

応募論文については3名の査読委員によるフルペーパー査読を行い、原則として2名以上が「可」の場合に論文が採択される。必要に応じて著者に原稿の修正を勧告することがある。論文の採否の判定基準は査読付きの共催学協会論文集と同程度とする。

なお次のような場合は否と判定される。

- 内容の質が上記のレベルに達していない場合
- 内容が理解困難であるほど表現が拙劣な場合
- 内容が風工学の対象とする範囲から著しく逸脱している場合
- 同じ内容の論文がすでに他誌に発表されている場合
- 原稿が論文体裁見本と著しく異なる場合
- その他、査読委員会で不適切と判断された場合

採択された論文は、必要な修正がなされたとき論文集に登載する。登載の可否の最終的な判断は運営委員会が行う。

6. 執筆要領

- 1) 原稿は、論文体裁見本を参照のうえ作成する。(所定の原稿用紙はありません。)
- 2) ページの書式は、A4 用紙に上下それぞれ 20mm、左右それぞれ 15mm のマージンを取り、総幅 48 文字の 1 段、42 行とする。用いる文字サイズ、フォントは、指定のない限り 10.5 ポイント、明朝体あるいは Times New Roman を標準とする。
- 3) 論文第 1 ページは、必ず下記の書式で論文体裁見本のように作成する。
論文題目和文(ゴシック体、14 ポイント)及び英文(但し、英文原稿の場合には、和文題目は必要ない。)
著者氏名(和文とローマ字で併記する。但し、英文原稿の場合には、ローマ字のみでよい。)
英文要旨(約 60 文字×12 行を標準とする。)
著者所属(下段に境界線を引き、記入する。)
- 4) 最終ページは、参考文献で終わるものとし、補遺、記号表等を必要とするときも参考文献の前におく。

7. 提出書類及び提出締切

1) 提出書類

原稿は電子ファイル(PDF)により提出期限までに J-STAGE のサーバーへ投稿する。

なお、投稿先の URL は確定次第更新する。

また、J-STAGE で投稿するので、論文送付票は必要ないが、下記の情報を、投稿に合わせて J-STAGE にて登録すること。

発表者名(ここでの「発表者」とは、シンポジウムにて発表する者を指す。)

発表者の所属および職名

発表者の平成 22 年 12 月 1 日現在の年齢

2) 問合せ先

第 2 1 回風工学シンポジウム運営委員会 委員 中藤 誠二

E-mail : kazesympo@jssc.or.jp

〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1

関東学院大学工学部社会環境システム学科 (Tel/ FAX : 045-786-7752)

3) 論文投稿期間

平成 22 年 5 月 20 日(木) ~ 6 月 17 日(木) 14 : 00

締切後は J-STAGE のサーバーへの投稿はできない。

8. 査読結果の通知及び最終印刷用オリジナル原稿の提出

- 1) 2010 年 9 月 3 日頃に査読結果を通知する。
- 2) 登載可とされた論文には、査読意見が添えられることがある。投稿者は査読意見を参考に、原稿を修正・吟味し、最終原稿を作成し、平成 22 年 9 月 24 日(金) 14 : 00 (必着) までに J-STAGE のサーバーへ投稿する。
- 3) 査読意見を無視した場合は、運営委員会において登載を拒否することがある。

9. CD-ROM

論文集に CD-ROM を添付する。これによりカラー原稿も表示できる。なお、従来の別刷りは廃止する。

以上